

月刊 新翔タイムズ

第75号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

生徒ら団結力発揮

笑顔あふれる「体育祭」



10月3日(金)、台風の影響により開催が危ぶまれていたが、生徒たちの願いが届いたかのように、当日は曇りつつも晴れ、第8回を迎える新翔高校体育祭が行われた。ブロック対抗リレーや応援合戦、そして前日から行われている「楽しすぎるリレー」など盛り上がりを見せた。学年種目では3年生は綱引き、2年生は綱取り、1年生は大縄跳びが行われ、どの学年もクラスで力を合わせて取り組んでいた。今年も去年の5ブロック制とは違い、赤と青の2ブロック制という形がとられた。本番当日までの準備やブロック練習など、下級生をひっぱって頑張っている3年生の姿が印象的だった。閉会式では、前期生徒会副会長の3年5組瀬谷優花さんが「いろいろ大変なこともあったけれど、みんなの力で素晴らしい体育祭にできたと思います。体育祭で見たクラスの団結力を学校生活や文化祭などでも発揮していきたい」とあいさつした。また、校歌斉唱では、それぞれが肩を組んだりしながら斉唱する姿が見られ、笑顔があふれる体育祭となった。

結果は次の通り
▽1年生大縄跳び 優勝 1年3組
▽2年生綱取り 優勝 2年2組
▽3年生綱引き 優勝 3年3組
▽応援コンクール 優勝 青ブロック
▽ブロック総合 優勝 青ブロック



地域防災の担い手に

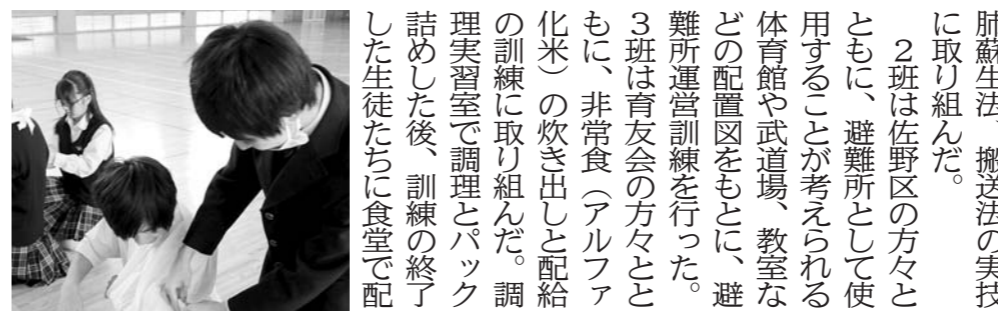
高校生防災スクール 実施しました!



防災スクールは、近い将来予想される南海トラフ地震をはじめ、自然災害に備えて高校生の防災意識を高める。地域防

各校実施となって2年目をむかえる今回は10月16日(木)に本校1年生と教職員、みくまの支援学校、育友会、佐野区、新宮市社会福祉協議会、老人クラブの方々の約230人での実施となった。生徒への事前学習として、10月6日(月)に教員がスライドを使って説明することにも、教員が防災実技などを体験した。その後、教室に戻り当日の防災実技の希望調査を行った。

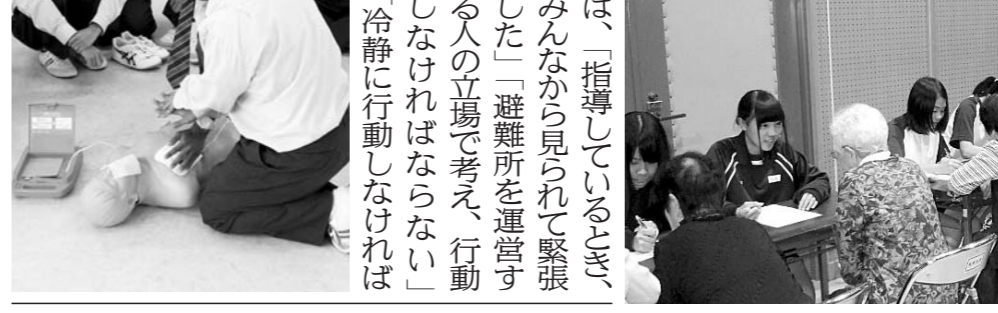
当日は、体育館で開会式を行った後、4班に分かれ防災スクールの実技などに取り組んだ。1班はみくまの支援学校の方々とともに、体育館が避難



所になったという想定で、間仕切りのためのパーティションを組み立てた。その後さらに3つのグループに分かれ、各クラスの防災委員が指導者として、応急手当、心肺蘇生法、搬送法の実技に取り組んだ。

2班は佐野区の方々とともに、避難所として使用するこが考えられる体育館や武道場、教室などの配置図をもとに、避難所運営訓練を行った。3班は育友会の方々とともに、非常食(アルファ化米)の炊き出しと配給の訓練に取り組んだ。調理実習室で調理とパック詰めした後、訓練の終了した生徒たちに食堂で配給を行った。

アンケータからは、「災害時に役立つ取り組みがあった」といった感想がある中、「全体的に防災実技を学びたかった」といった意見もあ



は、「指導しているとき、みんなから見られて緊張する」「避難所を運営する人の立場で考え、行動しなければならぬ」「高年齢の方のことが理解できた。また、その方のために自分が何をできるかを考えた」などの様々な感想が得られた。今回のアンケートや感想文の意見などをまとめ、来年度の防災スクールの内容に生かしていきたい。

「指導しているとき、みんなから見られて緊張する」「避難所を運営する人の立場で考え、行動しなければならぬ」「高年齢の方のことが理解できた。また、その方のために自分が何をできるかを考えた」などの様々な感想が得られた。今回のアンケートや感想文の意見などをまとめ、来年度の防災スクールの内容に生かしていきたい。

新翔生が堂々と演技

「新宮秋祭り」に参加

10月12日(日)、新宮市役所前で新宮秋祭りが開催された。多数の団体が参加するなか、本校からも3年生の生涯・競技スポーツ選択生と体育科の教員が祭りに参加した。

祭りでは体育祭でも踊った「ハレヤ節」を披露したが、新宮秋祭りは市役所前の道路を舞台に踊るため、それまで取り組んでいた隊形とは異なる隊形をとらなければならなかった。体育祭が終了してから約1週間という短い期間での修正だったため、少し不安が残った状態でも当日を迎えることとなった。本番ではそんな不安を打ち消すように、生徒たちは堂々と迫力のある演技を披露してくれた。

演技終了後には、観客から大きな拍手が送られ、生徒たちも達成感に満ちた表情を浮かべていた。新翔生の持っている素晴らしいパワーが感じられた一日となった。



「ライフデザインの描き方」テーマに

1学年



9月26日(金)、1学年は「産業社会と人間」の時間に「ライフデザインの描き方」をテーマにした講演を実施した。講師は京都光華女子大学及び短期大学部からの2人。ライフデザイン科教授の森脇孝司さんは、阪神淡路大震災とアメリカの同時多発テロという二つの大きな事件を偶然、

とても身近に体験し、それがきっかけで自分自身を見ていくこと、生かされていること、人生を切り拓く意識を持ち始めたこと話された。

キャリア形成学科准教授の高野拓樹さんは前職で、ホンダでF1カーのエンジン開発に携わった経験をもとに社会人基礎

力をつけるために必要な三つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の大切さについて触れられた。また、チームで働く際にはP(プラン)・計画・D(ドゥ)・実行・C(チェック)・A(アクト)行動のサイクルを紹介することメモを取る生徒の姿も。生徒たちが将来を考えるたいへん有意義な機会となった。

塩地海斗君が特選

製図コンクール和歌山県工業部会



塩地海斗君

10月15日(水)に実施された和歌山県工業部会主催の第34回製図コンクールに、建設技術系2年生の塩地海斗君が特選を受賞した。同コンクールは、「規則に従い、正確に、きれいに、迅速に」「質の高い情報」の盛り込み、読みやすい」を目標とし、より有能な工業人として製図に対する一層の励みとなるよう県教育委員会の後援を得て実施されている。

今回のコンクールには、県内の工業系高等学校に在籍する生徒の内、1686人が出品。土木系、建築系、機械系など六つの部門に分かれて審査を行い、塩地君は土木系部門(84作品)で見事特選を果たした。また、同じく3年畑中涼君が入選となった。

一学校開放月間

「きのくに学び月間」が始まります

「きのくに学び月間」が11月1日から始まります。公立学校において県下一斉に授業や学校行事を公開し、保護者や地域の人々に学校への理解と関心を深めていただき、地域ぐるみで生徒を育成する機運を高めることを目的としています。本校では次のような日程となっておりますので、多数のご来校をお待ちしております。

- 11月4日(火)～7日(金) 授業公開・クラブ見学週間
- 11月4日(火)～28日(金) 芸術科(書道・美術)の作品展
- 11月4日(火)～28日(金) 図書館一般開放
- 11月5日(水) 中高連絡会議 管内中学校進路指導主事との連絡会議及び授業公開
- 11月10日(月)～21日(金) 観光甲子園に向けた取組のまとめ展示
- 11月15日(土) 10:00～14:00 文化祭(七海祭)一般公開